

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：都市計画課

シート No.：83-2

作成日：2026. 5/15

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V 都市基盤の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める	本市は、少子高齢化に伴う人口減少やそれに伴う生活利便性の低下、更なる人口の流出や転入の減少が行政サービスの縮減を引き起こす悪循環となり、公共交通を維持するためにも住宅や施設の集約化による効率的な公共交通網の形成が求められています。その中で、都市再生特別措置法が改正され、コンパクト化することでより充実した生活を送れるよう「縮充」のまちづくりを進めるため、行政と住民と民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進する立地適正化計画制度が創設され、令和３年３月に立地適正化計画を策定しました。	本市の立地適正化計画は、2021 年から 2040 年の概ね 20 年後を目標年次として設定しているが、概ね 5 年毎に計画区域における住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化に関する施策の実施状況の調査、分析及び評価を行う必要があり、それに伴う本計画及び関連する都市計画を変更するものと法令で定められています。 令和 7 年度に引き続き、令和 8 年度も国土交通省のコンパクトシティ形成支援事業を活用し、水害への備えを強化するとともにコンパクトシティ実現に向け、整合性のある効果的な施策の展開を進め、現行計画の分析・評価等を実施しながら必要に応じて計画全体の見直しを進めます。
	施策	1 土地利用と市街地整備		
	施策内容	持続可能なまちづくりの推進		
	その他、拠法令及び分野別計画等	都市計画法、都市再生特別措置法、立地適正化計画		
事務事業名		コンパクトシティの実現		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	立地適正化計画の改定 （R 8）	現行計画の評価・検証を行い必要に応じて改定をします。	成果物納品（回）	1	—	5,533 千円	千円
②	策定委員会及び 庁内検討 WG の開催 （R 8）	立地適正化計画の改訂に向けて庁内検討委員会及び庁内 WG の開催をし、計画案の作成を行います。	開催（回）	2	—	千円	千円
③	関係機関協議の実施 （R 8）	立地適正化計画の改訂に向けて関係機関と協議をし、案の作成をします。	実施（回）	2	—	千円	千円
④	都市計画審議会の開催 （R 8）	立地適正化計画の改訂に向け都市計画審議会を適時開催します。	審議会開催（回）	1	—	千円	千円
⑤	パブリックコメント の実施 （R 8）	立地適正化計画の改訂に向けてパブリックコメントを実施し、住民からの意見の集約を図ります。	実施（回）	1	—	千円	千円
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①	自主防災組織の結成率（市内全域）（％）	「川との共生」に向けて、防災意識向上施策の成果指標として設定。	71.6	72		令和 22 年度 100
①	誘導区域の立地件数及び種類（件）	誘導区域内の生活利便性向上のため、誘導施策の成果指標として設定。	26	27		令和 22 年度 29
①	居住誘導区域内の人口密度（人/ha）	施策による都市の活力保持を把握するため、成果指標として設定。	37.0	37.0		令和 22 年度 37.0

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	